

デコ活 できることから

「デコ活」をご存じだろうか。環境省が2022年10月に立ち上げた「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称のことで、二酸化炭素を減らす脱炭素（Decarbonization）の「デ（De）」と環境に良いエコの「コ」に、活動や生活を組み合わせた造語である。

日本の温室効果ガス排出量を消費ベースで見ると約6割を家計消費が占めており、50年のカーボンニュートラルに向けて消費者の行動変容やライフスタイル変革が求められている。一方で、具体的に何をすれば脱炭素につながるのか、よくわからない人も少なくない。そこで環境省が中心となってデコ活を推進しており、現在1000以上の企業や団体、自治体等がデコ活宣言をしている。県内の自治体では、三重県のほか津市や四日市市など6市町が宣言済みだ。

環境省の資料では、衣・食・住、職場、移動手段などのテーマ別に、家庭で出来る脱炭素につながるライフスタイルの例が紹介されている。例えば、「住」では、消費電力の少ないLEDへの切り替えや節水などが推奨されている。蛍光灯は27年末までに製造・輸出入禁止となるため、切り替え検討に良いタイミングだ。節水型シャワーの利用者は約23%を占め増加傾向にある。

太陽光発電や省エネ効果の高い建材を活用したエネルギー効率が良い住宅「ZEH」も該当する。三重県の22年度の新築戸建て住宅のうちZEHが占める割合は約34%で全国5位と高い。

三重県はデコ活支援の一環として、「みえデコ活！省エネ家電購入応援キャンペーン」を8月末まで実施している。家庭での消費電力量が多いエアコンや冷蔵庫、照明器具などを対象として、省エネ効果の高い機種を購入すると購入額に応じたキャッシュレスポイントがもらえる。前回のキャンペーンでは、約1万5000台の省エネ家電の購入があり、2000トンのCO2排出量削減につながっている。

気軽に出来ることから始めることで、早期のカーボンニュートラル達成を目指したい。

（コンサルティング事業部 調査グループ 主任研究員 安岡 優）